

議員とカダる会（議会報告・意見交換会）報告書

開催日時	令和6年11月8日（金） 11時00分～12時00分
開催場所	青森市役所柳川庁舎
会場責任者	澁谷 洋子
記録者	澁谷 洋子、渡部 伸広
出席議員	澁谷 洋子、長谷川 章悦、奈良 祥孝、村川 みどり、藤田 誠 舘山 善也、里村 誠悦、渡部 伸広、柿崎 孝治
参加者数	9名
報告内容	総務企画常任委員会の所管事項について
意見交換内容 （意見の要旨）	テーマ：移住定住促進事業について 【テーマ1：移住・定住のための条件は何ですか？】 ・条件があるから移住するのではない。好きなら移住する。 ・配偶者がたまたま青森の人だった。 ・Uターン。 ・子育て、自分が育った環境。 ・移住企業支援金、移住支援サポートがあった。 ・移住企業支援金はハードルが高い、難しい。払う気がない？ふるい落としている。もらった人は何人いるの？もっと使い勝手のよい補助金を！ ・賃金が安いのに家賃が高い！ ・青森の津軽弁、食文化は豊かだ。住み続けているとなかなか気がつかない。 ・最低限の衣食住（住居、子育て環境）。 ・毎日温泉に。 ・生の津軽弁、ごはん（水、野菜、魚、りんご、ホタテ）がおいしい。収入がなくても生きていける。医療・子育てだけはお金がいる。 ・スキルをみがいて帰ってくる。 ・Uターン（青森が好き）。 ・東京での企画、独立準備→協力隊 ・好きな地域（＝青森が好きだから）で働きたい。 ・仕事をしながら趣味を楽しみたい。 ・まちの規模、まちの人柄。 ・コロナがきっかけ。テレワーク可能な仕事（IT系）だった。家族と暮らしながら仕事をできる喜びを感じた。自分の仕事は東京でないと成立しないと思っていた→東京でないと楽しめないような場所が青森にも増え、東京でなくてもよいと思った。 ・移住・定住に当たって考える自分の優先順位は、仕事、東京に行きやすいか、不便でないか。 ・移住・定住してよかったことは、人柄、そこそこ便利で人が少ないよさ、海・山が近いなど遊び方を模索できる。

【テーマ２：課題だと思うことは何ですか？】

- ・青い森鉄道の交通ＩＣ利用。
- ・自分で遊び方を見つける力。市外・県外の人の方が楽しみ方・遊び方を知っている。ディズニーが娯楽の全てではない。
- ・Ｉターン者は誰を頼るとよいか？
- ・セキュリティが地元（京都）と比べると心配。
- ・仕事、高齢の方、居場所。
- ・住居問題→青森は家賃が高いか！？
- ・物件がない。不動産の情報に出ていない。
- ・マンションが少なく感じる。
- ・車のあり・なしは問題になりがちだが、あまり関係なく感じる。
- ・自然の中で遊びたい。商業施設はどこにでもある。
- ・浪岡は市街化調整区域がない。
- ・調整区域にもっと目を向けて、住めるように、住んでもらえるように行政は力を入れるべき。お試し移住、定住。中心地を希望しているわけではない。
- ・青森市空き家バンクをもっともっと考えるべき。空き家バンクが活用できない。
- ・家に畑があれば。
- ・受入環境の整備（上下水道・生活関連）。下水が本下水になっていない。本下水補助が必要。
- ・移住促進のため移住特区、移住村の創設。
- ・農泊。
- ・大学でよそに行ってしまう。（学びたい学部がない）
- ・遊ぶところがない、交通の便が悪い。
- ・青森はいいところという認識。
- ・ネットは人のつながりがなければ意味はない（孤独）。
- ・雪は観光資源だが、住む場合は…。
- ・冬期、屋内のドッグランがほしい。
- ・支援金のハードルの高さ。転入・転出のハードル（手続き）。
- ・際立った何かが必要。どの層を狙うかをかためないといけない。
- ・テレワークも多くなった。青森の魅力は食べ物（郷土料理）がおいしい。マイナス面は寒いこと。暖かいほうがよい。
- ・田舎での子育てへの支援が必要。

【テーマ３：青森市へ求めるものは何ですか？】

- ・仕事は割とどうにでもなる→仕事を作れる人が必要。
- ・住みやすさ。
- ・お金を稼ぐために上京→都会は飽きる。
- ・可処分所得が少ない、生活を維持するには難しい。
- ・住居が狭く、家賃が高い。
- ・山、海など遊ぶにはお金がかからず◎。
- ・（農業が盛んなので）食べることに困らない。

	・シェアハウス！！国内版ワーキングホリデー。 ・宣伝が大切！！ある資源（自然など）をもっとPRして知ってもら う活動がされたらよいと思う。成功例→北海道、仙台。もっとイメ ージアップしたい。正直、関西には青森のよさは伝わっていない、 知られていないように感じる。 ・体験イベントも大切！！ ・役所に相談しづらい。 ・支援金が出る地域が限定的だと思う。首都圏（23区）は充実してい るが、それ以外は△だと感じる。「移住」という行動は同じだが首 都圏の人が優遇されているように感じる。（一極集中を避けるため だろうけれども） ・地域おこし協力隊の起業。 ・高齢者Uターンの青森居場所支援（還暦祝いとか）、活躍場所の機 会創出。 ・スタートアップセンターで登記したい。 ・シェアオフィスが高い。（東京の2倍） ・19時以降も使えるコワーキングスペース。 ・桜川町会の桜まつりが今年中止で悲しい。町会に入る支援を。 ・冬の歩道の歩きやすさ。 ・今の仕組み（除雪だけでなく色々なルール）を知るだけでもうれ しい。→知るとやれることがありそう。車道と歩道の管理は別なの で。 ・移住支援金・起業補助金・冬タイヤ。 ・情報→分かりやすくまとまっている等が割と重要かも。役所も情報 発信。自分から情報を取りに行く必要あり。人との関係、かわり が必要。 ・青森市の大体が分かるマップを！観光用ではなく、移住したての人 の生活のためのマップ。どの場所（町名）にどの位の家賃の物件が あるのか、スーパー、ペットも入れる大きな公園等の記載のあるマ ップ。隣接している市町村の大体の位置も分かるもの。→移住促進 ではなく、移住した人へのサービスを。 ・転入・転出の手続きが面倒→簡単になるだけでハードルは下がる。 ・子育て支援、産後ケアの特典。
記録者所見	青森市が好きで住みたいと思う人たちが本市での移住・定住を望んでき ており、移住・定住された方々は単に「住む」ということだけでなく、 幅広くいろいろな考えをもっているということがよくわかった。

青森市議会議長 様

令和6年11月20日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 総務企画常任委員長 澁谷 洋子

